

《セッション構成案》

■内科・外科シンポジウム5

FFR を血行再建へ活かす (90分)

論点：FFR を血行再建にいかにかすべきであろうか。虚血ガイドで実施された FAME II では OMT に対する PCI の優越性が示されたが、FAME III では CABG に対する PCI の非劣勢は検証されなかった。staged PCI が容易な PCI と困難な外科では立場が異なることも想定される。一方、グラフトの開存率に FFR が有益という臨床研究もある。実臨床でどう活用すべきか？理想と現実について議論したい

座長：内科 東京医大 田中信大 先生 外科 東京女子医大 新浪 博 先生

内科の立場から

1. FFR の概念、その中心的なエビデンス

東京医大 田中信大 先生 (発表 15 分+質疑 3 分)

2. 冠血流予備量比 FFR が多枝冠動脈疾患治療に活かされるためのシナリオ

獨協医大 阿部七郎 先生 (発表 15 分+質疑 3 分)

外科の立場から

1. 冠動脈バイパス術施行症例において FFR の結果は治療方針に大きな影響を与える

金沢大学 竹村博文 先生 (発表 15 分+質疑 3 分)

2. 外科医における FFR の意義

藤田医科大 高味良行 先生 (発表 15 分+質疑 3 分)

総合討論 15 分間